

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 情報	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	AABB Weekly Report 2006; 12(44): 4-5	伝達性海綿状脳症(TSE)諮問委員会が2006年12月15日 に公開で開催され、ヒト血漿由来抗血友病因子(FVIII)製 剤におけるvCJDへの潜在的曝露に関するTSEのリスク 評価ならびに血漿由来FVIII製造におけるFSEクリアラン スのレベルについて討論された。このリスク評価に対して 諮問委員会は、報告が強制でないことや、最終製品のリ スク減少を推定をする際に用いたエビデンスに対して懸 念を表明した。
												梅毒	Lancet 2007; 369: 132-138	中国の性感染症サーベイランスシステム及び監視サイト ネットワークからの症例報告データを集計し評価した。中 国における報告された梅毒の全症例発生率は、1993年に は100,000人あたり0.2例であったが、2005年には、第一 期及び第二期梅毒だけで100,000人あたり5.7例であった。 先天性梅毒の発生率は、1991年には100,000例の出生児 あたり0.01症例であったが、2005年には100,000例の出生 児あたり19.68症例まで、年平均71.9%の割合で大きく増加 した。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	HPA Press Statement 2007年1 月18日	輸血と関係した新たなvCJD疾患(4例目)が、最近診断さ れた。この症例は後にvCJDを発症したドナーからの輸血 を受けてから約9年後にvCJDと診断された。同じ供血者 からの輸血は以前に同定された1例とも関係していた。4 例目の患者は以前からvCJDに暴露した可能性を知らさ れていた。4例目のvCJD感染症例により、輸血を介したヒ トの間におけるvCJD感染リスクについての懸念が高まっ ている。4症例は全て、成分輸血に関連したものであり、 血漿分画製剤による治療に関連した症例は今まで報告さ れていない。
												HIV	Vox Sanguinis 2007; 92: 113-120	20例の血友病患者が、1990年初頭以降、韓国で製造され た血液凝固第IX因子の投与を受けてから1〜2年後に HIV-1に感染していると診断された。血漿ドナーと血友病 患者で検出されたウイルス間の遺伝子関連性を調べた 結果、両者とも、HIV-1サブタイプBの韓国subcladeに感染 していた。韓国で売血ドナーの血液から製造された凝固 因子により、少なくとも20例の血友病患者がHIV-1サブタ イプBに感染したことが明らかとなった。